

重点努力事項の具体的方策

知

確かな学力の向上

- 令和3年度県到達度調査各教科平均正答率が7.0ポイント以上県平均を上回る
- 令和4年度全国学力調査平均正答率が全国平均正答率を上回る 実現をめざし、

- ① 学習規律遵守の徹底（全教科共通の規律の設定〔チャイム前着席及び黙想、無言挙手、学習用具揃え、机・棚の整理等〕各教科学習規律の徹底）を実践します。校区内小学校と連携し、首里中校区小中一貫教育事業「学習規律」事項の徹底し、学力向上につなげます。
- ② 「首里中授業スタイル」の実践を通じて、学習指導要領に示している目標、内容の実現をめざし、「知識・技能」を確実に習得させます。さらに、これらを活用して「思考力、判断力及び表現力の能力を育むこと」をめざし、全教科で「書くことの再構成を取り入れた話し合い活動の強化・充実」を実践します。
- ③ 各種検定の奨励及び教科課題と連動した家庭学習習慣の確立から学習意欲の向上を図ります。
- ④ 「各教科等による図書館利活用の実践」及び「全分類読破を含む年間目標読書冊数40冊以上」の実践から、図書館利活用充実による学力向上をめざします。
- ⑤ 日々の学びが実社会とつながっていることを実感させるキャリアの視点を踏まえた授業実践、ガイダンスの充実及び職場体験活動等を通して「なりたい自分」と「なれる自分」を広げます。キャリアパスポートの実践記録ファイリングを統一し、生徒が「成長のキセキ」から自身の成果と課題及び対応策が分かるよう支援します。

徳

豊かな人間性の向上

- 自己肯定感の向上
- 自己有用感の向上をめざし、

- ① 道徳科を要とし、教育活動全体を通じて行われる道徳教育の重点を豊かな人間性の向上とし、「規範意識の向上及び礼節、感謝、思いやりの心の育み」などの豊かな心（心をカタチにする）を育む。「立ち止まりあいさつ」を実践します。
- ② 校内生徒指導・支援体制、教育相談体制の確立（共感的理解と毅然とした対応の共通理解）し、問題行動、不登校生徒の指導・支援、ケア、対応の充実を図ります。関係機関と（夜間巡視の充実 各機関との定例会合の確実な実施）連携行動します。小中一貫事業「定例生徒指導部会」を校区内小学校と確実に実施します。
- ③ 人権教育の充実、「いじめについての定期アンケート」及び教育相談活動実施を通して、人権感覚を高め、いじめを許さない学校づくりを進めます。
- ④ ボランティア体験活動、職場体験活動、小中一貫事業「交流活動」及び地域行事参加等の豊かな体験活動を推進します。ボランティア体験活動は、全生徒が年1回以上体験するよう支援し、自己有用感を向上を図ります。
- ⑤ 日々の清掃活動（無言清掃）を充実するとともに、分担区に、生徒名簿を掲示し、自覚と達成感の高揚を目指す。きれいな学校づくり（整然とした学舎）を生徒教師双方で進めます。

体

健康・体力の向上

- 健康に係る自己管理能力の向上
- 運動能力向上(全国平均に並ぶこと)をめざし、

- ① 健康（安全）の増進に関する自己管理能力を高める指導を推進するとともに、学校保健体力向上委員会の充実を図ります。
- ② 新体力テストの結果から運動能力の向上、特に持久力の向上をめざします。
- ③ 生徒が安心・安全で自己実現できる学校となるべく学校安全・防災教育の充実を図ります。
- ④ 夢実現ノートを活用及び生徒個々に応じた支援の充実から、「早寝早起き朝ご飯」等の確立をめざします。
- ⑤ 部活動を通じて、目標管理に基づいた部活動の実施及び好ましい人間関係づくりを進めます。休養日や活動日を適切に設定し、生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮します。

令和3年度

3年

学年目標

知

自ら学び、考え、自己実現に向けて努力する生徒を育む

徳

自他を慮り、仲間と共に高めあう生徒を育む

体

健康や安全について自己管理ができる生徒を育む